

2022年6月期第3四半期

決算補足説明資料



藤久ホールディングス

Fujikyu

証券コード：7135

# 今後の事業戦略について ～土台作りから実行ステージへ～

- 業界環境の変化に対応すべく、当社強みを活かした店舗EC一体型の事業基盤整備と商品・サービス拡充のための先行投資を実施してきた
- インフラ整備・体制構築の土台作りから、今後はサービス・商品提供の実行ステージへと移行、同時にM&Aや他社アライアンスによる業容拡大加速化

## 当社の強み

- 60年以上の**手芸専門店の運営実績**
- 全国に展開する網羅的な**業界トップの店舗ネットワーク**
- **110万名の会員基盤**と体験の場となる**多様な講習会運営**

## 手芸業界の動向

- 趣味の多様化と愛好者の高齢化を背景に**ユーザーが減少傾向**
- 100円ショップ始め他業種からの参入や同業の出店攻勢により**競争が激化**
- 新型コロナ禍で個人消費の**ECへのシフトが加速**

## これまでの取組み (～2021年)

### インフラ整備

#### ・基幹システムの刷新

店舗と通販在庫を一元管理する新基幹システムに刷新し、全店舗のPOSをタブレット型に変更することで多様な販促が対応可能に

#### ・人材投資

成果報酬型の人事制度へ変更し、従業員のモチベーションアップ実現  
管理・営業支援人材を外部登用し、管理サポート体制を強化

### 収益力の改善

不採算店舗閉鎖、本部人員スリム化、物流見直し等で収益力を改善  
店舗網再構築や諸経費の見直しによりさらなる体質強化中

### 業務提携

- ・(株)エポック社 手芸と親和性の高い人気商品の取扱い
- ・(株)日本ヴォーグ社 協業による多科目のWeb講習会の実現
- ・GMOペパボ(株) 両社のサービス(店舗・オンライン)への相互送客

### 持株会社体制への移行

M&Aやアライアンス推進を加速化するための体制確立

## 今後の取組み (2022年～)

### 店舗とECが一体化したシームレスな購入環境の実現 商品・サービスの充実化

基幹システムにより店舗とECの一体化を実現  
広告・CRM支援の(株)ゴンドラと業務提携しECサイトを大幅リニューアル  
デジタルマーケティングにより顧客訴求力の高いサービス・商品を提供

### ECと一体化した強靱な店舗網の構築

店舗とECが一体化した顧客接点の強化をベースに、戦略的なスクラップ  
&ビルドにより店舗網を再構築  
地域旗艦店や店舗毎の顧客特性に応じた売場・講習スペースを設定

### M&Aやアライアンスの推進によるグループの業容拡大

当社の会員基盤、サービス・商品、店舗網と親和性が高い企業との  
アライアンスを推進し、グループ事業シナジーを創出し、新規顧客の獲得、  
事業の充実化・拡大を図り、企業価値向上を実現

**2022年4月に(株)日本ヴォーグ社との株式交換契約を締結、子会社化によるグループ力のさらなる向上を実現する**

# グループ経営理念の実現に向けて ～成長戦略の更なる加速へ～

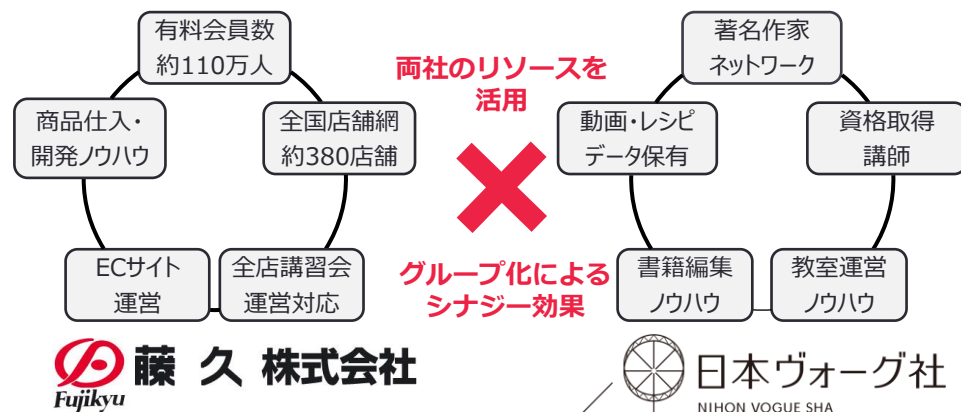
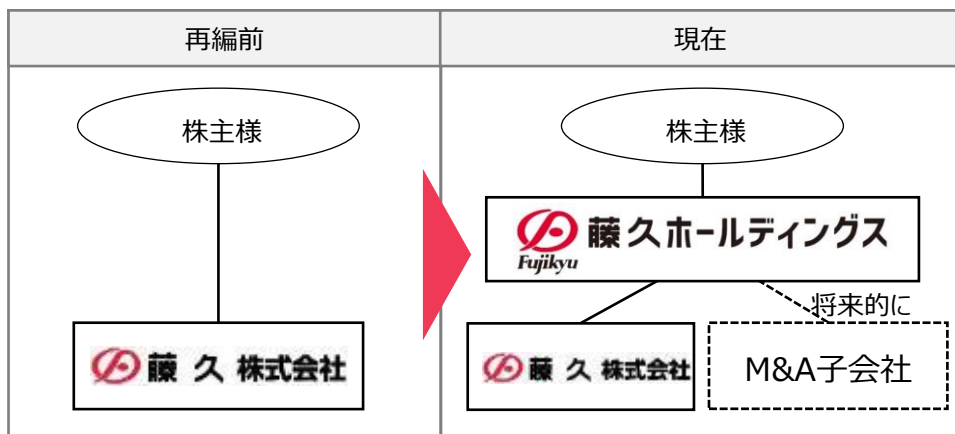
## グループ経営理念：「手づくり」を通して豊かな心を育み幸せを紡ぐ企業グループへ

### 持株会社化

- 思いを同じくする企業とM&Aやアライアンスを積極的に行い、手芸分野の充実はもとより、オムニチャンネル化を通じた販売チャネルの拡充、新たな商品やサービスを提供する体制づくりを目指し、持株会社化を実施
- 約110万名の会員情報を持株会社が管理し、将来的に傘下事業会社間で相互活用を可能とすることで会員数増と各事業の拡大を狙う

### (株)日本ヴォーグ社の子会社化

- 2022年4月21日、(株)日本ヴォーグ社を100%子会社とする株式交換契約を締結、効力発生日は2022年7月1日（予定）
- 業界屈指の出版・教室事業を有する「(株)日本ヴォーグ社」と業界トップの全国店舗網を持つ「藤久(株)」両社のリソースを活用し、人材の相互派遣も含めた相乗効果によりグループ価値向上を図る
- 業界ネットワークを活かし、さらなるグループ拡充へ



# 2022年6月期第3四半期決算概要

- 前年度の巣ごもり需要による反動は減少し入園入学需要による売上増加があったものの、長期化するコロナ禍による個人消費低迷の影響もあり、前年同期比大幅減収

## 2022年6月期第3四半期決算概要

	2020年6月期		2021年6月期		2022年6月期			
	第3四半期	通期実績	第3四半期	通期実績	第3四半期 (連結)	前期差	前期比	通期予想 (連結)
売上高	15,230	22,349	16,296	20,694	<b>11,749</b>	△4,546	72.1%	17,400
売上総利益	8,752	13,010	9,637	12,187	<b>6,668</b>	△2,968	69.2%	10,010
販売管理費	9,015	12,126	8,445	11,286	<b>8,028</b>	△417	95.1%	11,000
営業利益	△262	883	1,191	900	△ <b>1,360</b>	△2,551	—	△990
経常利益	△342	749	1,201	911	△ <b>1,345</b>	△2,546	—	△980
当期純利益	△843	282	987	757	△ <b>1,752</b>	△2,739	—	△1,330

2019年8~9月：  
消費税増税前の特需

2020年7~3月：  
コロナ巣ごもり需要

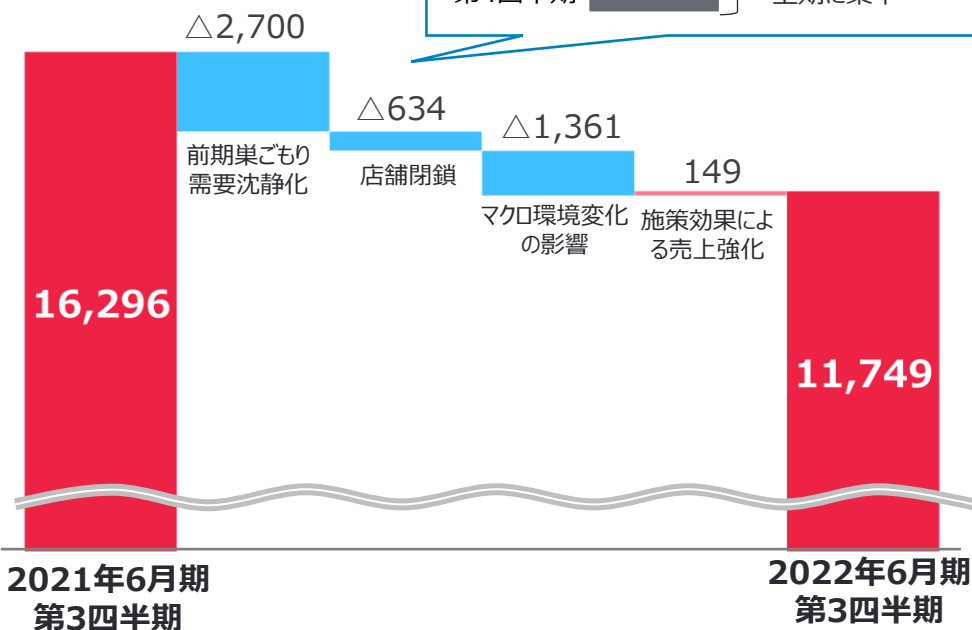
- \* 当社は藤久(株)の単独株式移転により2022年1月4日に設立されたため、2020年6月期及び2021年6月期は、藤久(株)の数値を記載
- \* 2022年6月期第3四半期累計の数値（連結）は、2022年6月期第2四半期までの藤久(株)の数値（非連結）を含む

# 売上高・経常利益増減要因分析

- 新規商品や施策による売上効果はあったものの、マクロ環境悪化に伴う客数減による減収影響が大きく、売上高は計画を大きく下回った
- 仕入値高騰等の影響により粗利率が若干の低下の一方、不採算店舗閉鎖などにより販管費4億円強を削減

## 売上高の増減要因

(単位：百万円)

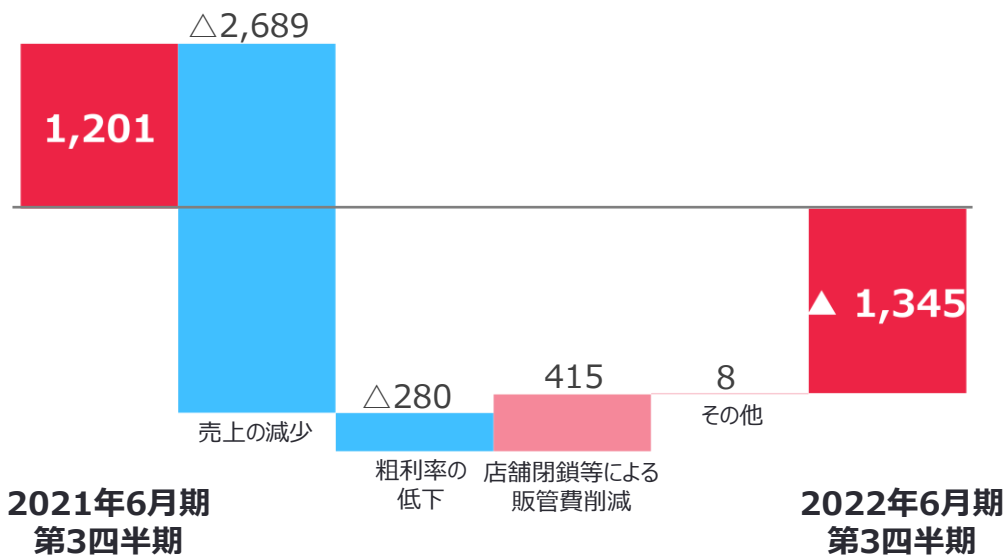


2022年6月期  
前期巣ごもり需要の反動の予想

第1四半期	△1,500	△2,900百万円 ※2021年6月期の 巣ごもり需要は 上期に集中
第2四半期	△800	
第3四半期	△400	
第4四半期	△200	

## 経常利益の増減要因

(単位：百万円)



# 事業部門別売上実績

- 当第3四半期まで累計で新規出店2店舗、閉鎖10店舗とスクラップアンドビルドを継続
- 前期巣ごもり需要の反動や、店舗数・客数の減少により、店舗販売部門の売上高は前期比70.6%と大幅に減少した
- 通信販売部門は販促や商品強化の結果、ほぼ前年同期並みの売上高を維持した

## 既存店舗数の推移

(単位：店舗)

	2020年6月期		2021年6月期		2022年6月期	
	第3四半期末	期末	第3四半期末	期末	第3四半期末	前期比
期末既存店舗数	432	419	390	384	376	96.4%
うち手芸専門店	419	406	381	375	367	96.3%
うち生活雑貨専門店	13	13	9	9	9	100.0%

## 事業部門別売上実績

(単位：百万円)

	2020年6月期		2021年6月期		2022年6月期	
	第3四半期	通期	第3四半期	通期	第3四半期	前期比
店舗販売部門	14,491	21,278	15,462	19,591	10,917	70.6%
通信販売部門	710	1,032	809	1,071	812	100.5%
その他の部門	29	38	24	31	18	76.5%
合計	15,230	22,349	16,296	20,694	11,749	72.1%

2019年8～9月：  
消費税増税前の特需

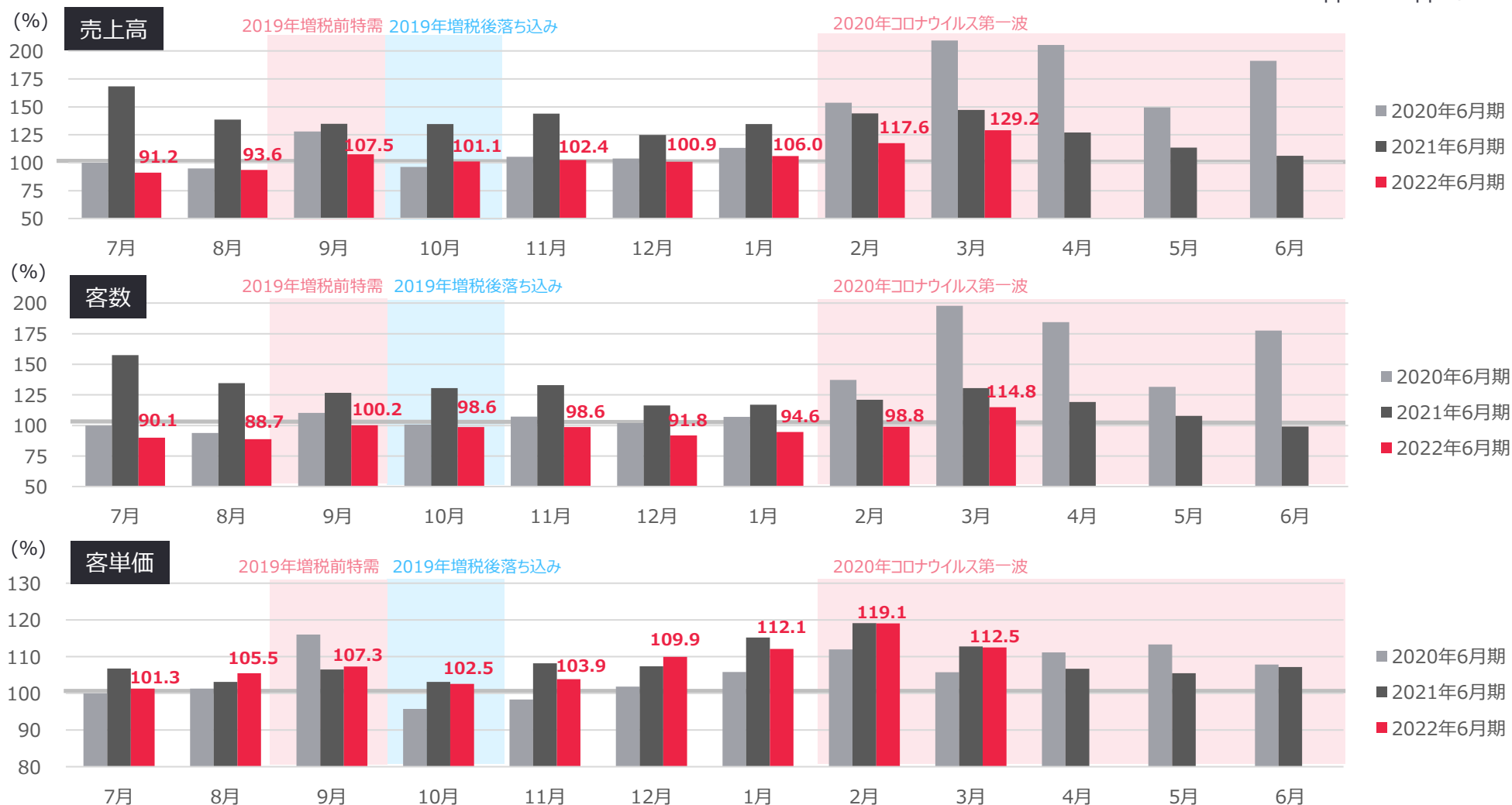
2020年7～3月：  
コロナ巣ごもり需要

# 既存店の状況

- 2020年2月より急拡大した巣ごもり需要の反動や長引くコロナ禍による客数減少が響き、売上高が前年同期比大幅な減少となった
- 全国店舗網を活かした販売強化によるミシン売上が好調で、生地・和洋裁のソーイング関連売上もあり、客単価は巣ごもり需要前を上回った

## 既存店月次推移（2019年7月実績を100として指数化）

\* 手芸専門店既存店（364店舗 apple-to-apple）実績



# 貸借対照表

## 貸借対照表

(単位：百万円)

	2021年6月期	2022年6月期 第3四半期	増減額	主な増減要因
<b>流動資産</b>	<b>10,681</b>	<b>8,614</b>	<b>△ 2,066</b>	
現金及び預金	4,372	1,845	△ 2,526	△売上減による当期損失の計上
棚卸資産	5,447	5,565	118	+入園入学時期の仕入増
その他の資産	861	1,202	341	+未収消費税等
<b>固定資産</b>	<b>2,854</b>	<b>2,663</b>	<b>△ 191</b>	
有形固定資産	1,024	969	△ 54	+レジ周辺機器入替 53百万円 △減損損失 108百万円 等
無形固定資産	432	472	36	
投資その他の資産	1,397	1,220	△ 176	△繰延税金資産の取り崩し
<b>資産合計</b>	<b>13,535</b>	<b>11,277</b>	<b>△ 2,258</b>	
<b>負債合計</b>	<b>4,202</b>	<b>4,111</b>	<b>△ 90</b>	
流動負債	3,232	3,179	△ 52	△年度販売委託料の支払、未払消費税の支払等
固定負債	969	931	△ 38	
<b>純資産合計</b>	<b>9,333</b>	<b>7,165</b>	<b>△ 2,167</b>	△当期損失計上による利益剰余金の減少
<b>負債・純資産合計</b>	<b>13,535</b>	<b>11,277</b>	<b>△ 2,258</b>	

\* 当社は藤久(株)の単独株式移転により2022年1月4日に設立されたため、2021年6月期は、藤久(株)の数値を記載  
\* 2022年6月期第3四半期累計の数値（連結）は、2022年6月期第2四半期までの藤久(株)の数値（非連結）を含む



# 2022年6月期業績予想

- 価格政策の見直し、クロスセルの推進等に加えアライアンスによる新たな販促策、教室施策により、減収傾向に歯止め
- なお、現中期経営計画については、現状を踏まえ今年度末までに見直す予定

## 2022年6月期業績予想

(単位：百万円)

	2020年6月期		2021年6月期		2022年6月期予想		
	実績	構成比	実績	構成比	修正後通期予想	構成比	前期差
売上高	22,349	100.0%	20,694	100.0%	<b>17,400</b>	100.0%	△ 3,294
売上総利益	13,010	58.2%	12,187	58.9%	<b>10,010</b>	57.5%	△ 2,177
販管費及び一般管理費	12,126	54.3%	11,286	54.5%	<b>11,000</b>	63.2%	△ 286
営業利益	883	4.0%	900	4.3%	△ <b>990</b>	-5.7%	△ 1,890
経常利益	749	3.4%	911	4.4%	△ <b>980</b>	-5.6%	△ 1,891
当期純利益	282	1.3%	757	3.7%	△ <b>1,330</b>	-7.6%	△ 2,087

	2020年6月期			2021年6月期			2022年6月期		
	中間	期末	年間	中間	期末	年間	中間	期末	年間
一株当たり配当金 (円)	-	25.00*	25.00*	12.50	19.50	32.00	-	未定	未定

\* 当社は藤久(株)の単独株式移転により2022年1月4日に設立されたため、2020年6月期及び2021年6月期は、藤久(株)の数値を記載

\* 2022年6月期第3四半期累計の数値(連結)は、2022年6月期第2四半期までの藤久(株)の数値(非連結)を含む

\* 藤久(株)は2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施、2020年6月期については株式分割前の実際の配当金の額を記載

# 会社概要

## 会社情報

商号	藤久ホールディングス株式会社 (FUJIKYU HOLDINGS CO.,LTD.)
設立	2022年1月4日
資本金	1億円
代表取締役	中松 健一
本社所在地	愛知県名古屋市名東区高社一丁目210番地
店舗数	376店舗（グループ連結）
従業員数	284名（グループ連結）
事業内容	毛糸、手芸用品、生地、和洋裁服飾品、衣料品及び生活雑貨等を中心とした一般小売事業を主たる業務として行う子会社等の経営管理及びこれらに付帯又は関連する一切の事業


1952年	4月	故後藤久一が「後藤縫糸」の名称で名古屋市中村区にて絹糸類の加工販売を開始
1961年	3月	藤久株式会社として法人に改組。資本金180万円
1968年	7月	手芸専門店のチェーン展開を開始
1983年	6月	「手芸センタートーカー」第1号店を名古屋市中村区に開店
1994年	4月	日本証券業協会に登録、店頭登録銘柄として株式公開
2003年	8月	東京証券取引所市場第二部及び名古屋証券取引所市場第二部に株式を上場
2013年	5月	東京証券取引所市場第一部及び名古屋証券取引所市場第一部銘柄に指定
2015年	4月	オンラインショップ「クラフトハートトーカー.com」を開始
2018年	5月	スマートフォン向けアプリ「Tokaiグループアプリ」のサービス開始
2020年	6月	株式会社キーストン・パートナーズとの資本業務連携
2021年	2月	株式会社エポック社及び株式会社マスターピースと業務提携
2021年	5月	株式会社日本ヴォーグ社と業務提携
2021年	11月	GMOペパボ株式会社と業務提携
2022年	1月	単独株式移転により「藤久ホールディングス株式会社」の設立、東京証券取引所市場第一部及び名古屋証券取引所市場第一部上場
		藤久株式会社の子会社化
2022年	2月	株式会社ゴンドラと業務提携

\* 各情報は2022年3月末時点


# 販売チャネルと店舗網

## 店舗展開

親会社

 **藤久ホールディングス**  
Fujiky

運営会社

 **藤久株式会社**  
Fujiky

手芸専門店

341店舗

22店舗

2店舗

2店舗

手芸情報サイト



公式通販サイト



生活雑貨専門店



9店舗

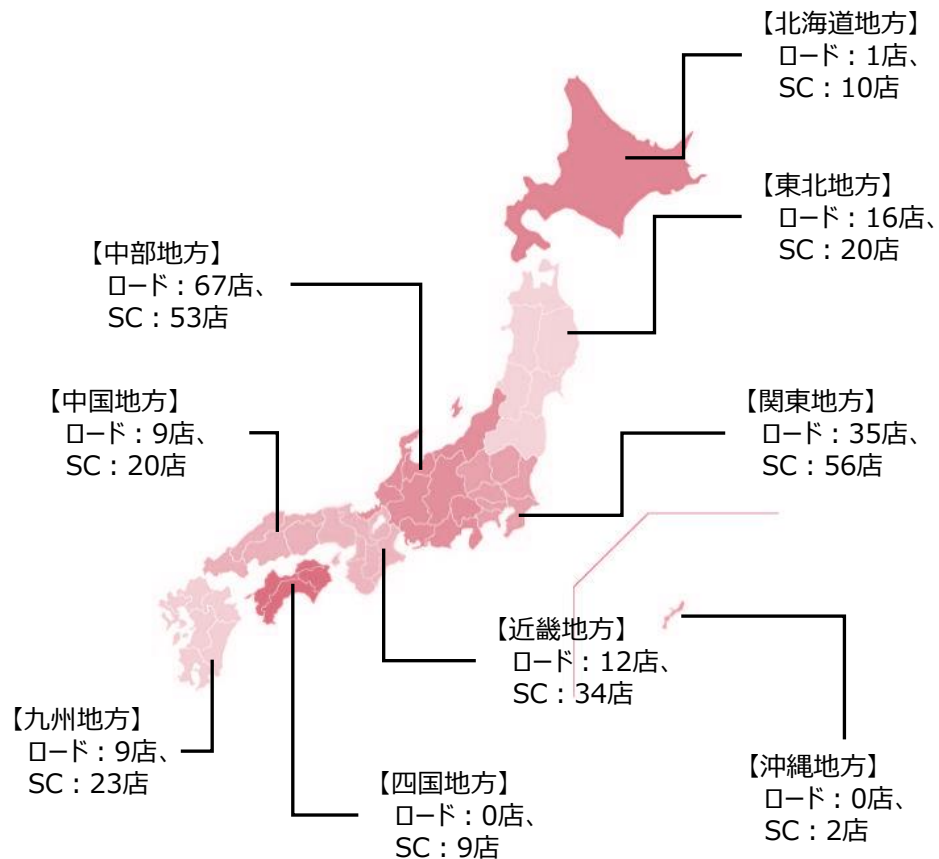
<店舗イメージ> クラフトハートトーカイ コースカベイサイド店



## 出店状況

□ロード : □ロードサイド店舗

SC : SC店舗 (インショップ店舗)



\* 各情報は2022年3月末時点

# 本資料に関するご注意

## 本資料及び当社IRに関するお問合せ先

- 本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料に記載された業績予想及び将来予測については、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実性を含むため、将来の経営成績の結果を保証するものではありません。
- 実際の業績等については、環境の変化などにより、本資料における将来見通しと異なる場合がございます。
- 万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

## 本資料及び当社IRに関するお問合せ先



お問合せ先	藤久ホールディングス株式会社 企画部
所在地	〒465-0095 愛知県名古屋市名東区高社一丁目210番地
電話	052-725-8815
HP	<a href="https://www.fujikyu-hd.co.jp/">https://www.fujikyu-hd.co.jp/</a>